

①身体的発達と自己との関わり

『さまざまな遊びへ挑戦』



みてみて～
のぼれたよ

5月



11月



春頃は、年上の子達が遊んでいる様子を見ると、“登ってみたいなあ”と近くへ来て、板の上に手を伸ばしたり、足を掛けたり・・・でも登るのはむずかしい。

はしごにぶら下がっていても、手を離してしまうこともあったのですが・・・夏を越えて、**体の使い方**も安定し、腕の力でぐっと体を持ち上げたり、落ちないように支えたりする力もついてきて、**自分の力**で登れるようになりました。



【お友達に支えられて、乗り越えていく】

ゆたかくん
おいで～



すべり台の踊り場で立ち止まっていたゆたかくん。「どうしたの？」と聞くと、「**ちょっとなやんでいるの**」大きな滑り台をやりたいけれど・・・ちょっと怖くて、行ってみようか。それとも、やっぱり降りようかと考えているようです。



そんなふうな、何日か立ち止まったり、大人の膝に座って滑ってみたり・・・を繰り返していたある日。
「ゆたかくん、しおんくんと一緒に滑ろう」と声をかけてくれました。
ゆたかくんもその言葉に少し安心したようで、一つづつ網の橋を渡っていきます。しおんくんが「おいで～」と待ってあげる姿に**胸がいっぱい**になりました。そこから、滑り台の怖さも和らいできたようで、一人でスイスイすべっていくゆたかくんの姿にも成長を感じました。

